

取り組み3年目 「継続は力なり」



社会福祉法人 桂川福祉会
特別養護老人ホーム 明日香園

明日香園ノーリフティングケアプロジェクトチーム
統括1名、教育係 2名、個別プラン係 2名、福祉用具管理係 2名、
腰痛・健康管理係 2名

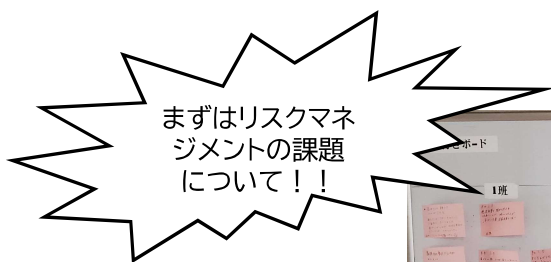
毎月プロジェクト会議を実施中

前年度は腰痛・健康管理係が2名抜け、
統括と腰痛健康管理が兼任していたが、

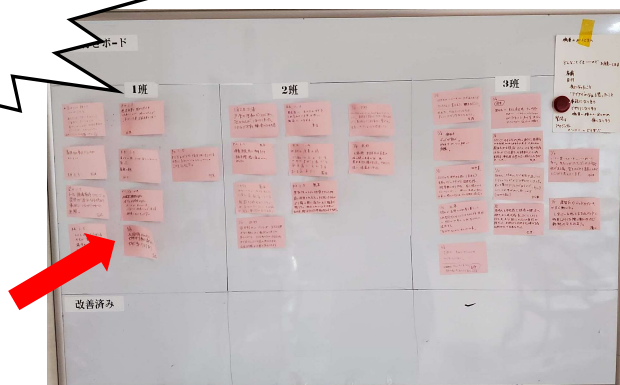
今年度に 新たに2名のメンバーが 加入

課題は2年目に引き続き

・リスクマネジメントと職員の教育



2年目の取り組みで
振り返りシート
として一日の業務を振り
返りリスクを抽出すると
いう方法を試す



初めのうちは順調にリスクの抽出が貼り出されていたが・・・

徐々に抽出されるリスクが減っていく・・・

定期的に職員達にリスク抽出の
促しをしながらも続けていたが
上手くいかず・・・



そこで！！
やり方を変えてみようという事で・・・

職員それぞれに用紙を
配布しリスクを感じる事
と自分なりの改善方法を
記入してもらったスタイル
を取り入れてみました。

みなさんの声を聴かせて下さい。第2弾「リスク検出器」
を御座います。元々「リスク」に感じるリスクを記入して下さい。

今回のリスク検出器は「検出器」です。検出器で
検出のみではなく、入所者のメイン
にお考え下さい。

感じるリスク

自分なりの改善方法

記入してもらい、回収、確認、再度配布、回収と
手間が多く、改善までを実施する職員もいれば、
改善案で止まっている職員も多かったです。

リスクマネジメントにつきまして
は、まだまだ勉強させていただきます。
という事でめげずに様々な方法を
トライしてみようと思えます。



次に職員の教育の課
題について！！

技術チェックの不合格者への対策として

氏名	検査項目	検査結果	検査日	検査場所	検査担当者
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

技術チェックをおこなう中で、合格者と不合格者の
差がついており、不合格者に対しての
対策が遅れてしまっていた。

毎月の技術チェックスケジュールの中で、
再チェックなどを入れて実施していたが、
再チェックでも不合格をする人がいる状態

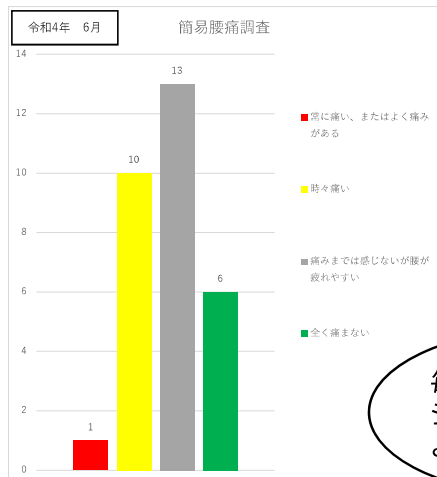
合格対策は・・・

22名	step 1	step 2-2	step 3	確認	立ち上がり	シートボード	張り出し	シート	グローブ	立ち上がり	リフト	スマイル	45度傾斜
谷口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伴村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木重	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石丸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平原	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
竹山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栗生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
藤田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
植田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
熊野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
杉野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
菅原	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉原	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
溝口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
田中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
近藤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
片瀬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
浅野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合格者	59%	100%	68%	94%	94%								

不合格者の対策としてスケ
ジュールに、「補習授業」を入れ、補修後
は出来るだけ早めに再
チェックを受けてもらい、本
人にとって合格という成功
体験を積みモチベーション
向上に繋がるようにした。

今後も補修やアドバイスなどを用いて
合格者と不合格者の差が縮まり、合格者
が増えるようにしていきたい。

取り組む中で変化したこともある

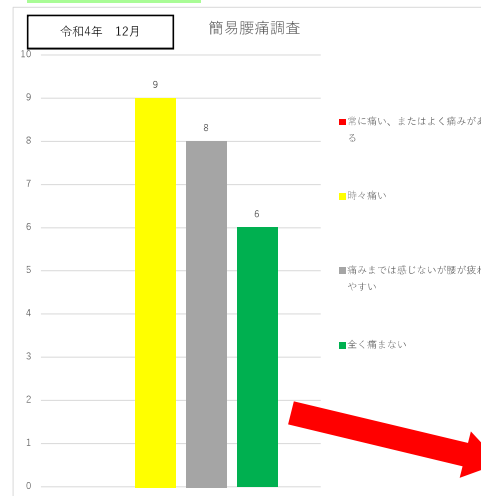


腰痛アンケートの度に腰痛保持者「常に痛い」が1名～3名いる状態が続いており、面談や体の動かし方のアドバイスなどを実施

毎日午前と午後のラジオ体操を実施するように発信しよう



6か月後



現場の中で「あー腰が痛い」という声が時々耳に入ってくるが・・・

取り組みを続ける中で腰痛重度者が減少した。

介護職員の常に痛い人がいなくなり、時々痛みに変わっているノーリフティングケアが効果として表れていると実感。

しかし、まだまだ「時々痛い」は多く、予備軍も多くいる状況なので油断は禁物

午前・午後のラジオ体操は定着化してきています。

毎朝朝礼で全部署でのラジオ体操もやっています。

体操以外にも職員の体の使い方が上手になっているのではないかと思います。

これからも一人一人が自分自身の体を守りながら健康に働けるように取り組んでいきます。



何かを継続して実施する事は簡単な事ではありません。

ですが、続ける事で必ず効果や結果は出て来ると思います。

今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます

